

[様式14]

(対象事業：ミュージアムを核とした地域文化資源の整備・活用に係わる事業)

事業名：北大阪ミュージアム・ネットワークの構築

事業者名：北大阪ミュージアム・ネットワーク実行委員会

連携事業館名：関西大学博物館、吹田市立博物館、池田市立歴史民俗資料館、箕面市立郷土資料館、大阪府営箕面公園昆虫館、茨木市立文化財資料館 他42館の北大阪ミュージアム・ネットワーク協賛館・園・施設

代表住所：大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学博物館

TEL：06-6368-1171

FAX：06-6388-9928

HPアドレス：<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/museum.htm>

#### ①施設概要

北大阪ミュージアム・ネットワーク（KOMネット）とは、北大阪7市3町（池田・箕面・豊中・吹田・摂津・茨木・高槻・島本・能勢・豊能）の博物館・美術館・動物園など48施設が連携を図りあい、地域文化の発展に貢献することを目的としたネットワークです。平成19年度はその構築を目指して、関西大学博物館が代表となって実行委員会を設け、種々の事業を実施しました。

#### ②事業の意図目的

北大阪地域の全域（7市3町）を視野にいれ、連携館と協賛館の48館が協力してミュージアム・ネットワークを構築し、地域文化資源の整備・活用に積極的に取り組み、その成果を地域に発信することを目的としました。

#### ③事業概要

1. 北大阪ミュージアム・ネットワーク通信誌の刊行
2. 分野別研究事業の展開
  - 2-1 「大阪北部地域の街道を訪ねて」ウォーキング
  - 2-2 関西大学博物館展示会「吹田を知る」
  - 2-3 大阪の北“さわやか”発見スタンプラリー
3. 北大阪ミュージアム・マップ デジタル版の制作
4. 北大阪ミュージアム・マップの発行

#### ④事業の製作物及び報告書等

事業の製作物	ポスター 1枚、チラシ 3種類、パンフレット 1部
	資料 1部、教材 1枚、スタンプ台紙 1枚
	通信誌 1部、マップ 1部、ホームページ 1式
作成した報告書等	
冊子	報告書 1部

#### ⑤参加者状況

参加者人数	延べ	3,005	人
内訳	2-1	10	人
	2-2	1,119	人
	2-3	1,876	人（記念教育資料を手渡した人数）

## (1) 事業の実施状況について

平成19年度文化庁芸術拠点形成事業への採択内示を受け、北大阪ミュージアム・ネットワーク実行委員会としての事業開始日を9月15日に設定し、ネットワーク丸としての取り組みを表現するために、B2判の大型ポスターを連携館・協賛館一斉に掲示することから事業が始まりました。ポスターの基調は、緑多い北大阪のイメージからグリーンに決め、連携を意味する円形のフォルムを用いて温かみのにじみ出るポスターに仕上げました。

約3週間の公示期間を経て、まず、最初の取り組みとなったのは箕面山間部にある博物館・園を使った地域連携事業です。箕面市と池田市にある11の施設が連携して、「大阪の北“さわやか”発見スタンプラリー」と銘打って、10月13日(土)から12月9日(日)のほぼ2ヶ月間において実施しました。箕面市と池田市は隣接した位置関係にあり、11館全てを紹介したチラシを配布し、5館以上入館された方に教材をお渡しするというゲーム感覚を取り込んだ事業です。北大阪ミュージアム・ネットワークの意図した地域文化資源の活用にあましく合致する企画となりました。この11館のなかには、企業ミュージアムや民俗資料館のほかにも、動物園や昆虫館など様々な形態の館があり、参加者に対しても文化的に深みのある催しになったと思います。

また、11月2日(金)～4日(日)に池田市でIKEDA文化DAYが開催されたこともあり、予想以上の参加者を得て、急遽教材の増し刷りをするほどとなりました。

次に、11月12日(月)から17日(土)の間、「関西大学博物館展示会『吹田を知る』」を実施しました。この展示会は、関西大学博物館千里山キャンパスが立地する「吹田市」にちなんだテーマを設定し、学生と市民共同で作り上げる展示会です。共通テーマを設定することで、学生と地域の方との連携を円滑にし、地域文化資源の掘り起こしを行い、その成果を効果的に地域に還元することが目的です。実際には、15名程度からなる学生の班を6班設定し、それぞれが吹田市区を足で歩いて調査し、興味あるテーマを絞り込みました。9月からはそのテーマに関連して、郷土史家や地元博物館の学



北大阪ミュージアム・ネットワーク  
実行委員会ポスター



発見スタンプラリー」チラシ



「吹田を知る」チラシ



関西大学博物館外観



芸員、企業、地域の方々への聞き込みをするなど、展示に結び付けていきました。展示テーマは、「吹田建築博覧会～街角がパビリオン～」 「千里山大正ロマン」 「吹田の学校～子どもたちの現在・むかし～」 「マロニー吹田展～この町からはばたく企業～」 「吹



小野原の常夜灯籠を眺める

田ゆかりの美術～文化人たちの交流～」 「吹田のまつり～甦る『ドンジ』～」の6つです。1週間の期間中、1000人を超える見学者があり、説明に立った学生と見学者との間にも交流が育まれることが少なからず見受けられました。

「大阪北部地域の街道を訪ねて『西国街道を歩く』」ウォーキングについては、諸般の事情により当初予定していた9回の実施を1回にして、平成20年1月20日（日）に実施しました。小雨の降る寒い日でしたが、萱野三平記念館前（箕面市）から郡山宿本陣（茨木市）までの7キロの西国

街道を歩きました。参加者10名は、案内に立った箕面市立郷土資料館の福田館長が説明する地域の史跡や道標にまつわる逸話を熱心に聴きながら、最後まで歩きとおしました。

行事以外にも、通信誌を発行し、北大阪ミュージアム・ネットワークの活動状況の報告やそれぞれの館の取り組み紹介など、連携を深めるための情報交換に力を入れました。また、北大阪ミュージアム・ネットワーク48館すべてを掲載した「北大阪ミュージアムマップ」を作成し、各館に無料で置き配布しました。このマップは、各館の紹介をするとともに、裏面に北大阪全域の地図を中心に掲載したKOMネットの活動の集大成ともいえるマップです。市民の皆さんに48館それぞれが身近に感じてもらえる工夫を随所に取り入れ、A1判の大判に印刷し、北大阪の地理を感じてもらえるように作成しました。さらには、インターネットでもアクセス可能なようにホームページを作成し公開しました。（<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/KOMNET/komnet.html>）

## （2）地域との連携について

今回の事業において、どの事業も地域との連携なしでは為しえないものばかりです。「関西大学博物館展示会『吹田を知る』」では、関西大学に在籍する学生たちが積極的に地域の方たちと交わり、それを展示会として形にすることで、より一層その関係性を密にしていきました。北大阪ミュージアム・ネットワークの連携で、吹田市立博物館や国立民族学博物館などから情報提供を受ける学生がいる一方で、地域へ赴き、地域のお年寄りや自治会の方と連携するものなど、さまざまな形で地域連携を実行していきました。特におよそ60年の間中断していた祭り「ドンジ」を取り上げた「吹田のまつり」班は、10月中旬の本祭の何ヶ月も前から、



「吹田を知る」参加者

保存会のメンバーと打合せを重ねてきました。展示会には、その地道な活動が実を結んで、お祭りで使用した民俗資料の展示に成功しています。また、地元の企業を取り上げた「マロニー吹田展」班は、当初貸し出しを断られたマロニー第1号製品を、その熱意に免じて展示許可をもらうことができました。さらに展示会には、全社をあげて協力いただくことができました。

また、「大阪の北“さわやか”発見スタンプラリー」では、箕面市と池田市の連携なしでは実施できなかった事業です。池田市のIKEDA文化DAYでは、期間中、本事業の実施に一方ならぬ協力をいただきました。

「大阪北部地域の街道を訪ねて『西国街道を歩く』」では、案内者と参加者が同じ道を歩くことにより、新しい交流が生まれました。

### (3) 成果物について

「大阪北部地域の街道を訪ねて『西国街道を歩く』」資料 500部

関西大学博物館展示会「吹田を知る」パンフレット 2,000部

「大阪の北“さわやか”発見スタンプラリー」資料 3,000枚

北大阪ミュージアム・ネットワーク通信誌 25,000部

北大阪ミュージアムマップ 25,000部

北大阪ミュージアムマップ デジタル版 1式

### (4) 参加者の反応

概ね良好な反応を得ることができたと思います。

「大阪北部地域の街道を訪ねて『西国街道を歩く』」では、参加者10名と少数であったにもかかわらず、非常に熱心に案内者の説明に耳を傾け、3時間のウォーキングを堪能してもらうことができました。江戸時代の街道を巡ることで、当時の人々の生活や信仰・風習に思いを馳せ、現代からタイムワープしたような時間を共有できたと思います。

「関西大学博物館展示会『吹田を知る』」では、特定地域を限定して取り上げた展示会であり、実際に見学に来られた地域住民や吹田を知る方々からは、今後もこのような展示会を続けてほしいという要望をいただきました。本展については、学生が介在して地域の方と協力して作り上げた展示会というユニークな形態をとり、手作り感あふれる斬新な展示となったことも、参加者の好印象に結びついたと思います。

「大阪の北“さわやか”発見スタンプラリー」では、箕面市・池田市にある11館・園が協力したことによって、地域一体となって各館・園の知名度を上げることができました。予想外の参加者の多さに資料の増刷が間に合わず、近くの館・園で融通しあって乗り切りました。

北大阪ミュージアムマップは、25,000部印刷し、連携館・協賛館それぞれに500部程度置き配布するように配置しました。デジタル版のインターネット公開と相まって、地域の方々に活用いただきたいと考えています。



#### (5) 芸術拠点形成事業を実施したことによる効果

北大阪ミュージアム・ネットワーク実行委員会として種々の事業を実施したことによる一番の効果は、北大阪にある48館が官・民・学を問わず相互理解を深めることができた点にあると思います。ミュージアムを核とした地域文化資源の整備や活用は、どの館も念頭において事業計画を立てていますが、ゆるやかなネットワークを構築することで、1館では難しかった取り組みにも挑戦することが可能となります。今回の「大阪の北“さわやか”発見スタンプラリー」では、11館が連携して実施したことにより、それぞれ専門館としての特色を損なわず、幅の広い文化力を地域の方々と共有することができました。

また、関西大学博物館での取り組みは、北大阪ミュージアム・ネットワークの協力と理解により、学生が対応の前面に出たにもかかわらず、どの館でも丁寧に対応いただき、展示会実行者（参加した学生と市民の方々）にとっても実り多いものとなることができました。

「大阪の北部地域の街道を訪ねて」では、実際に歩くことによって、行政区を乗り越えた地域の結びつきを、過去に遡って実体験することができました。

さらには、本来複数の行政区間にまたがる館が連携して事業を実施する場合のハードルとなる予算面が、文化庁との契約のもと、芸術拠点形成事業としてクリアされたことで、より規模の大きな事業を試験的に実施することができたことは大きな成果といえます。とはいっても、計画策定を短期間に行わざるをえなかったため、特に市民を巻き込んだ事業対象区域が、ネットワークの西域（吹田市・箕面市・池田市）に偏りがちとなったことや、7市3町の48館にもまたがる広域を対象とした事業推進に係る連絡調整には一方ならぬ努力が伴ったことなど、検討課題も残りました。しかしながら、限定された範囲ではありますが、事業推進にかかる事務作業や連絡調整を経験したこと、各館の学芸員・職員の交流が活発になったことなど、今後の地域推進事業の企画や事業策定にあたって、大きな糧となったことは確かです。

北大阪というこれまでにない視点でネットワークを形成し、各館それぞれできる範囲で相互協力する、という新たな取り組みを実行できた、その1点でもあまりある効果が発揮できた事業であったと、「北大阪ミュージアム・ネットワークの構築」をご採択賜りました文化庁に深甚なる感謝の意を捧げます。

## (6) 新聞記事等

### ○ 新聞記事

**45施設が連携 北大阪ミュージアム・ネットワーク**  
**ミュージアム巡りのラリーで地元再発見**

市民の文化施設が連携し、地域文化の発展に貢献しよう。北大阪7市3町(池田・箕面・豊中・吹田・高槻・茨木・摂津・島本・能勢・豊能)の美術館や博物館、企業ミュージアムなどが、同ネットワークが初のイベントとして、10月13日(土)～14日(日)の2日間、吹田の北さくら文化センターを会場に「吹田を知る」を開催する。吹田の北さくら文化センターを会場に「吹田を知る」を開催する。吹田の北さくら文化センターを会場に「吹田を知る」を開催する。

11月12日(月)～17日(土) 関西大学博物館(阪急大前) 吹田市の郷土史家や市民、学生らによる企画・展示。TEL 06・6368・1171。

●「吹田を知る」  
 11月12日(月)～17日(土) 関西大学博物館(阪急大前) 吹田市の郷土史家や市民、学生らによる企画・展示。TEL 06・6368・1171。

2007 北大阪ミュージアム・ネットワーク

多種多様な施設で共同イベントを(写真にはポスター)開催します。大阪の北エリアにある11館のミュージアムマップも配布予定です。詳細は06(6368)1171の事務局へ。

●「吹田を知る」  
 11月12日(月)～17日(土) 関西大学博物館(阪急大前) 吹田市の郷土史家や市民、学生らによる企画・展示。TEL 06・6368・1171。



関西大学博物館

Asahi family 2007 年 10 月 19 日 6 面

リビング吹田・箕面 2007 年 10 月 13 日 5 面

### ○ テレビ、関連誌等

吹田ケーブルテレビ「日刊吹田情報局」

関西大学博物館展示会「吹田を知る」開催について

放映日 11月13日 11時45分～・14時～・16時30分～・23時  
 (5分程度放映)

### ○ ラジオ

FM千里「千里イブニングヒルズ」

平成19年11月1日(木) 16時30分～16時50分  
 (約20分間)

北大阪ミュージアム・ネットワークについて  
 関西大学博物館展示会「吹田を知る」について  
 出演者 吹田市立博物館 参事 藤原 学  
 関西大学博物館 主任 山口 卓也

FM千里「昼どきパーク 837!」

平成19年11月12日(月) 10時40分～11時  
 (生放送・約20分間)

関西大学博物館展示会「吹田を知る」について  
 出演者 関西大学博物館 主任 山口 卓也  
 関西大学博物館展示会「吹田を知る」  
 参加者

11/1(木)『千里の朝(木曜朝)地域』

千里イブニングヒルズ木曜日は地域です。

吹田市立博物館:参事の藤原 学さんと

関西大学博物館:学芸員の山口 卓也さんでした。



北大阪ミュージアムネットワークについてお話しいただきました。

北大阪ミュージアムネットワークとは・・・?

博物館活動の充実と北大阪の地域文化の発展に寄与する事を目的としたネットワークです。

『千里イブニングヒルズ』

月曜日・金曜日 午後4:00～午後7:00

投稿日:2007/11/1 | カテゴリー: せ:千里イブニングヒルズ | コメント:コメントする